

【授業名】

現代経営学応用研究（ハイパフォーマンス経営）

【講師名】

アクセンチュア株式会社

齋藤 敏彦、松崎 康誉、高塚 大然、君塚 真己、小高 一慶

1. 授業テーマと到達目標

【授業テーマと目標】

日系企業は、真のグローバル競争時代が加速する中で、新たな課題に直面している。

多くの企業が生産拠点と考えていた新興国が、新たな消費市場とポジションを変貌して急速にマーケットが拡大していることや、GAF A に代表されるディスラプターが、デジタルやテクノロジーを活用することで、多くの既存ビジネスの根底が揺るがされているからである。そのような激しい競争時代の中で、今日でもハイパフォーマンスを実現している企業に共通する特徴はなんだろうか。

それは、①マーケットとしての新興国へのグローバル展開、②それぞれの既存ビジネスの強みを活かした他とのコラボレーションで既存のコア事業を強化させ、③モノ売り重視から販売後のアフターやサービスビジネスへシフト、④ユーザーに対して新しい経験となるような商品・サービスの提供といった新たなビジネスモデルによる新しいコアを拡大させていくことで、変わりゆくビジネス環境に適応し“Wise Pivot(軸足のブレない転換)”を実現させていることではないだろうか。

そういった特徴に加え、それらの企業は「企業経営」と「事業経営」といった 2 つの経営管理の舵取りを行うことで、ハイパフォーマンスを実現している。

「企業経営」とは、人・モノ・カネ・時間という有限な経営資源を活用し、企業全体の利潤を最大化する活動であり、「事業経営」とは「企業経営」を構成する個々の事業において配分された経営資源を活用し、利益を最大化する活動である。

講義では、事業経営（マーケティング、SCM）と、企業経営（経理・経営管理、IT）におけるハイパフォーマンスを、先進企業の事例をふんだんに盛り込みながら解説・分析する。

【成績評価方法と基準】

- 講義内での発言回数と内容 :30%
- 期末試験としての「学生プレゼン」の内容: 70%

【履修上の注意（関連科目情報等を含む）】

本講義は、ビジネスについての高度な知識や経験は必要としません。知識が無い人でも理解出来るように講義をしたいと思っています。

【学生へのメッセージ】

本講義を通じて、ハイパフォーマンスを創出し続ける常勝企業たるための必要条件を理解し、各企業から参加されている学生の皆様の実務において一助となることを期待します。

【テキスト&参考書】

本講義の内容は多岐に渡るため、指定テキストは利用しません。教員が毎回資料を用意します。

2. 講義スケジュール

下記のような講義計画を予定しています。講義内容は受講者の関心や習熟度に応じ、多少変更する場合がございます。受講生による討議とプレゼンテーションは随時行っていきます。

第1回 ハイパフォーマンス企業の特徴（5月9日 1時限）

【講義概要】

イントロダクションとして、本講義のテーマとスケジュールについて説明する。

また本講義の序論として、グローバル企業を取り巻く環境の変化と、その環境の中でハイパフォーマンスを創出し続ける常勝企業の特徴について論じる。

【主な講義トピック】

- 企業を取り巻く環境の変化
- ハイパフォーマンス企業における事業経営・企業経営の特徴

第2回 ハイパフォーマンス事業経営①－マーケティングエクセレンス（5月9日 2時限）

【講義概要】

ハイパフォーマンス企業が社内外の環境変化や、デジタル化におけるマーケティングの在り方をどのように捉え、追従し、事業経営に活かしているかについて、そのマーケティングのエクセレンスを詳解する。

【主な講義トピック】

- マーケティングの役割と環境変化
- 様々なデジタルマーケティングの事例

第 3 回 ハイパフォーマンス事業経営② – サプライチェーンエクセレンス (5月16日 1時限)

【講義概要】

現在の多極化社会におけるサプライチェーンの在り方について、製造業の事例を詳解しつつ、議論する。

【主な講義トピック】

- グローバルサプライチェーン
- コラボレーション
- グローバルソーシング
- グローカル R&D

第 4 回 ハイパフォーマンス企業経営① – 経営管理エクセレンス (5月16日 2時限)

【講義概要】

グローバルの中で常に勝ち抜くためには、どのような経営管理モデルを構築することが必要かを詳解する。必要な情報を、如何に早く収集し、経営意思決定に活用するかを議論する。

【主な講義トピック】

- グローバル経営管理モデル
- マネジメントモデル

第 5 回 ハイパフォーマンス企業経営② – 経理エクセレンス (5月23日 1時限)

【講義概要】

ハイパフォーマンス企業におけるグローバル経理モデルを支える上で、オペレーションをグローバルで標準化し、効率よくサービスを提供することが不可欠であり、そのオペレーションモデルを詳解する。

【主な講義トピック】

- End to End BPR
- RPA、AI 等デジタル技術活用による会計プロセスの進化

第 6 回 ハイパフォーマンス企業経営③ – ERP 導入の要諦 (5月23日 2時限)

【講義概要】

2000 年代前半に導入した基幹システムが置き換えの時期になっている。現行システムの単なる置き換えではなく、新しいビジネスや改革テーマをどのように ERP パッケージに反映していくのか、またプロジェクトを成功させ効果を出すためには何が必要なのかを詳解する。

さらに今後の企業システムの全体像、業務ユーザー側の資質の変化もあわせて解説する。

【主な講義トピック】

- ERP 導入の要諦

第 7、8回 学生プレゼン（5月30日 1、2時限）

【講義概要】

事前に提示した課題についての、受講生諸君によるプレゼンテーションと Q&A。

受講生諸君を数名のグループに分け、グループごとにプレゼンテーションの準備ならびに、発表を行っていた。

【主な講義トピック】

- 事前配布した課題についてのプレゼンテーション並びにディスカッション